【無力】人を助けるために知識は必要不可欠

無知は罪なり。どのジャンルでも言えることですが、知識は最大の武器であり、無知は最大の罪である。ここ1ヶ月で２名も道で倒れているところに遭遇しました。ですが僕は助けることが出来ませんでした。無知は罪なり・・・。

知識と言う武器を持て

この１ヶ月の間に、ご高齢の方が道に倒れている場面に出くわすことがありました。一人は、交差点の歩道で、もう一人は交差点の横断歩道で倒れていました。

どちらも僕は車で走っており、さらにもうすでに複数人の方々が集まり、介抱している様子でした。救急車もすぐ近くに来ている場面もありました。

なので、はたから見れば僕は用無しなんですが、なんかこう「素早く駆け付ける勇気がなかった」自分がもどかしく、恥ずかしいんですよね。

結局その勇気って、無知だからこそだと思います。仮に僕が救急関連の関係者であれば、駆け付けていたかもしれません。それは誰にもわかりません。

連続でこういう場面に遭遇することってそう何度もないと思うので、余計に考えさせられる出来事でした。

職業柄、周りの方よりも体について詳しいんですが、もっと(必要最低限今回のような場面に出くわした時)知識を深めておかないといけないなと感じました。

自己満かもしれませんが、このモヤモヤが消えないんですよね。「あの時車を停めてでも駆け付けてあげることができたら・・・」なんて考えます。今回は、どう見ても僕はいらないんですけどね(笑)

こういう経験から『無知は罪なり』という言葉が響きますし、武器になるような知識は付けておくべきだなと痛感します。知識はいくら増えても重くならないし、磨けば磨くほど最強の武器になりますしね。

あなたなら僕のような場面に遭遇した時、どう対応しますか？

とまぁ今回は無知って怖いなぁと感じつつ、僕の行動が恥ずかしいなって感じた出来事でした。もっともっと知識を深め武器を磨いていきます！！